

【日韓文化交流特別講演会】

ハンゲルの誕生

—〈知〉の革命—

日時：2012年6月24日(日)

14:00—16:00 (開場 13:30)

会場：新潟市万代市民会館多目的ホール

入場無料 先着：280名

講師



のま ひでき

野間 秀樹

専門は、朝鮮言語学、日韓対照言語学、韓国語教育。

国際教養大学客員教授。前 東京外国語大学大学院教授。

1996-97年、ソウル大学校韓国文化研究所特別研究員。

2004-06年、NHKテレビハンゲル講座監修、ラジオハンゲル講座講師。

2005年、大韓民国文化褒章受章。2010年、アジア・太平洋賞大賞受賞。

著書に、『ハンゲルの誕生（日本語版は平凡社、韓国版は図書出版

トルベゲ）、『韓国語 語彙と文法の相関構造』（ソウル：太学社、

2003年度大韓民国学術院優秀学術図書）、『新・至福の朝鮮語』（朝日出版社）など。

編著書に、『韓国語教育論講座』全4巻（くろしお出版）など。

主催：駐新潟大韓民国総領事館，
在日本民団新潟地方本部

後援：新潟県，新潟市，新潟県日韓親善協会

お問い合わせ

▲Tel：025-255-5555

▲Fax：025-255-5506

▲E-mail：niigata@mofat.go.kr

野間 秀樹 ハングルの誕生 — 〈知〉の革命—



【講演概要】

15世紀、朝鮮王朝に生まれた文字体系〈訓民正音〉(くんみんせいおん)。

その誕生は単なる文字体系の誕生に留まらない。

彼の地にあっては、一千年にわたって、およそ〈書かれたことば〉のすべては漢字漢文であった。

彼の地にあって、〈話されたことば〉はついで書かれることがなかった。

人々の貴き〈母語〉である朝鮮語はただ話されるものであって、書かれることはなかった。

朝鮮王朝第4代の王・世宗(セジョン)は、文字を創製し、未だかつて誰も眼にしたことのない朝鮮語の〈書かれたことば〉を創ろうとする。

これに驚愕した王朝の知識人たちは、命がけで王を諫めんとする。

〈訓民正音〉と呼ばれたその文字の創製と成長は、彼の地の〈知〉のありかたを根底から変革することとなった。

〈訓民正音〉は後に〈ハングル〉と呼ばれ、しばしば人の生と死にも関わってゆく。

日本と韓国の読書人が絶賛した名著『ハングルの誕生』で描かれる。

我らの時代が共有すべき感動の〈知〉のドラマをここ、新潟の地で共に！！



皆さんの多くのご来場を心よりお待ちしております。

日時：2012年6月24日(日) 14:00-16:00 (開場 13:30)

会場：^{ばんだい}新潟市万代市市民会館多目的ホール6階

(Tel: 025-246-7711, Fax: 025-246-8080)



- ◆ 新潟駅より徒歩7分
- ◆ 駐車場はありませんので
電車・バスをご利用ください